

第65回 日本老年医学会学術集会 みんなのティーサロン

ダイバーシティ推進委員会では、
多様な個性を生かした人材育成、女性活躍、働き方改革、
ワークライフバランスの実現をサポートしています！
今年も全国から様々な経験・経歴をもつ相談役（キャスト）に
集まって頂きました。「各施設、地域の生の声、身近な
ロールモデル」とも出会えるかもしれません。
相談役だけでなく、来場者同士の交流の場でもあります。
お茶とお菓子を用意しております。
ぜひお気軽にお立ち寄りください！

—統計などの相談コーナーもあります！—

2023年6月17日（土）
16:00-18:00
パシフィコ横浜
アネックス F203
（第6会場）



企画：ダイバーシティ推進委員会

委員長 海老原孝枝

副委員長 宮尾益理子

※委員（五十音順）

会田 薫子	・ 赤坂 憲	・ 安藤富士子
磯部 健	・ 板橋美津世	・ 井藤 佳恵
奥野太寿生	・ 亀山 祐美	・ 田中 志子
富田 尚希	・ 津端由佳里	・ 柳川まどか
吉田守美子		



キャスト一覧



お待ちしております！



北海道：松尾 雪絵

札幌湊仁会リハビリテーション病院診療部
(内科、リハビリテーション科)

奈良県立医科大学卒

日本老年医学会 老年科専門医・指導医

日本内科学会 認定内科医・総合内科専門医

日本医師会認定産業医

北陸：大黒 正志

金沢医科大学高齢医学

兵庫医科大学医学部卒

日本内科学会 認定医 指導医

日本老年医学会 専門医 指導医

日本未病学会 認定医

日本サルコペニア・フレイル学会 指導士

日本医師会健康スポーツ医、日本医師会認定産業医



近畿：赤坂 憲

大阪大学大学院医学系研究科老年・総合内科学

札幌医科大学医学部卒

認定内科医・総合内科専門医・内科指導医

循環器専門医、高血圧専門医・指導医、老年科専門医・指導医

糖尿病専門医・指導医、内分泌代謝科専門医

社会医学専門医、病院総合診療認定医・特任指導医



郡山 弘

大阪大学大学院医学系研究科老年・総合内科学

大阪大学医学部 卒

認定内科医・総合内科専門医・内科指導医

日本専門医機構 総合診療専門研修特任指導医



中国：天野 芳宏

島根大学医学部 内科学講座

呼吸器・臨床腫瘍学

島根大学卒

老年科指導医、総合内科専門医、呼吸器専門医、呼吸器内
視鏡専門医、がん治療認定医、JMECCインストラクター



四国：久保 亨

高知大学医学部老年病

循環器内科学講座

高知医科大学卒（現 高知大学医学部医学科）

日本内科学会認定内科医

総合内科専門医・指導医

日本老年医学会認定老年科専門医、老年科指導医

日本循環器学会循環器専門医

日本人類遺伝学会臨床遺伝専門医、臨床遺伝指導医



九州：池田 義之

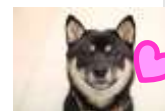
鹿児島大学大学院医歯学総合研究科

心臓血管・高血圧内科学

鹿児島大学卒

総合内科専門医・指導医、循環器専門医、

心臓リハビリテーション指導士、抗加齢医学会専門医



東北：富田 尚希

東北大学病院 加齢・老年病科

信州大学卒

総合内科専門医・老年科専門医・老年精神医学

専門医・認知症専門医

医学博士・公衆衛生学修士

関東：福島 正人

医療法人本庄福島病院

本庄総合病院

日本医科大学卒

老年科専門医・指導医、高齢者栄養療法認定医

老人保健施設管理認定医、内科専門医・認定医

循環器専門医、消化器専門医



内田 陽子

群馬大学大学院保健学研究科

老年看護学教授

東京医科歯科大学大学院卒（看護学博士）

看護師



東海：藤沢 知里

名古屋大学医学系研究科

地域在宅医療学老年科学

三重大学卒

認知症専門医・指導医

総合内科専門医・指導医

老年科専門医・指導医



オーガナイザー：田中 志子

医療法人大誠会 内田病院

社会福祉法人久仁会

帝京大学・群馬大学大学院卒

日本内科学会総合内科専門医

日本老年医学会老年科専門医・指導医

日本認知症学会認知症専門医・指導医

認知症サポート医



キャスト紹介



松尾 雪絵 先生

(札幌溪仁会リハビリテーション病院診療部 内科・リハビリテーション科)

臨床主体で過ごしているため、その視点で思うところをお伝えします。高齢化社会が確実に進んでいますが、核家族社会のため親が高齢になるなどがなければ、なかなか高齢者の実情に触れる機会が少ないと思います。しかし、実際の診療は高齢者がとても多いのが実情です。治すだけではない治療が求められていることも日々実感しているのではないのでしょうか。知識ではなく体感・実感としての高齢者医療を行うことは結構難しいことだと認識していますが、志を持って診療にあたろうという人が、この学会に入っていると思います。その時点でいわゆる先進医療的な注目はないかもしれませんが、時代に求められている医療を先頭に立って行っていると思います。老いと疾病のバランス感覚を磨くことが「上手い」高齢者医療なのではないかと思っています。



富田 尚希 先生

(東北大学病院 加齢・老年病科)

セカンドキャリアの集団は新たな価値を生み出す可能性を秘めているように思います。



福島 正人 先生

(医療法人本庄福島病院 本庄総合病院)

老年医学会は、高齢化社会の中、実臨床における課題や問題点を共有し議論し合える貴重な場でございます。学術集会のみならず、高齢者医療研修会など質の高い研修会も充実し、会の参加を通じて、理論や実践を体系的に学ぶことができ、大変素晴らしい学会です。ティーサロンにいらっしゃる皆様と、老年医療に関する悩み苦しみを共有・共感できたら大変光栄に存じます。

内田 陽子 先生

(群馬大学大学院保健学研究科 老年看護学教授)

老年医学や看護は多様性を認め、その人らしさを発揮できる社会を目指していることが素晴らしいと思います。まずは、心を開いて語り合いたいですね。



キャスト紹介



藤沢 知里 先生

(名古屋大学医学系研究科地域在宅医療学老年科学)

老化に伴い現れる症状や疾病を、例えなおすことができなくても、それらを遅らせたり、緩和させることが内服または環境因子でできるかもしれない。という気持ちで臨床と研究をしています。

終末期は、悲しいけれど、その人や家族が望むように、何か少しでもできることがあるのではないかと、後で思い出したときに、良い最期だったね、といえるような最期を過ごしてもらえるように日々仕事しています。

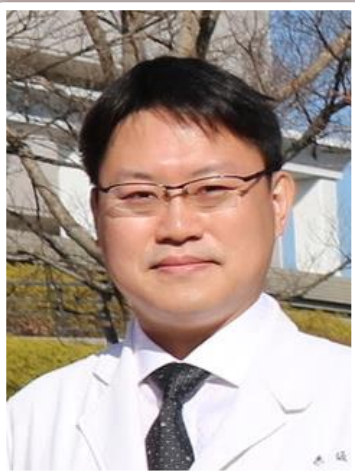


大黒 正志 先生

(金沢医科大学 高齢医学)



医学の進歩は年々歳々めざましく、数々の疾患の診断、治療に飛躍的な向上をもたらし、我が国においては世界に冠たる最長寿国という恩恵をもたらしました。若き医学生、医師にこれら最先端の医科学の知識、動向を伝え教えてゆくことは最重要課題であることは言うまでもありません。一方、科学としての医学は、その分科的性格の故に、多病、慢性化、合併症の多発、症候の非定型性などの特徴を有する疾病高齢者に向かい合った時に、一疾患、一症候にとらわれ、全体を見失うことが往々にしてあります。老年医学の本質は、個々の専門医科学の修得とともに、それぞれの疾患の重みづけを、1人の高齢者における他の多くの疾患、合併症、生活習慣、家族環境、社会環境、心理的側面をも含む全人的な立場から的確に把握する洞察力を養うことにあると考えます。医療はscienceとartをともに深く理解した上に成り立ちますが、この意味から、老年医学は、各専門医学の習熟の上に、さらに老い病める人をも包含できる博識を養う格好の場として全医学生、若き医師に修得していただきたい。



赤坂 憲 先生

(大阪大学大学院医学系研究科老年・総合内科学)

専門分野や研究歴などのバックグラウンドに関わらず、誰でも参加できる敷居の低い学会であること。積極的にコミュニケーションをとり、日本の老年医学を発展させていきましょう。



キャスト紹介

郡山 弘 先生

(大阪大学大学院医学系研究科老年・総合内科学)

社会の高齢化に伴って、老年医学は我が国でますます重要性を増していくと考えます。所属施設の枠組みなどを超えて一緒に頑張りましょう。



天野 芳宏 先生

(島根大学医学部 内科学講座 呼吸器・臨床腫瘍学)

臓器や病気だけを診るのではなく、その人を診る、という全人的医療の意識が育つ。
完治や寿命を延ばすだけが医療ではないと思うようになった。



久保 亨 先生

(高知大学医学部老年病 循環器内科学講座)

老いについて真剣に考え、ヘルシーエイジングを求める点が素晴らしいと思う。

私の専門は主に循環器領域ですが、心臓に限らずどんなことでも構いませんので、ご遠慮なくお声かけください。



池田 義之 先生

(鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 心臓血管・高血圧内科学)

当大学には別途老年内科を標ぼうしている診療科があり、かつ当科は超急性期診療を中心とした循環器内科であるため、正直なところ老年医学の診療は十分に行えていません。一方、超高齢社会に伴う心不全の増加により、高齢者循環器疾患患者様の診療が増えてきているので、老年医学に習熟することは今後の医療にとって必須事項であると考えています。



第65回 日本老年医学会学術集会

みんなのティーサロン

2023年6月17日(土) 16:00-18:00

パシフィコ横浜 アネックス F203 (第6会場)